

普及活動情勢報告（令和４年７月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

夏場の管理できれいなユズを～物部柚子生産部会夏季管理講習会～



香北会場での様子

７月９日、ＪＡ高知県香美地区物部柚子生産部会の夏季管理講習会が香北町と物部町で実施され、併せて20名の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、日焼け果の防止や病虫害防除、熱中症対策について指導を行いました。特に今年は着果量が少ないことから、品質を上げ、単価を上げるためにできるだけ不織布（サンテ）被覆を行い、日焼け果の発生を防ぐよう呼びかけました。

多くの生産者から「今年は全部にかければあの気持ちでやる」「もう暑い、気をつけないかん」という声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、日本一の青果ユズ産地の生産安定に向けて支援していきます。

今年もたくさん収穫しました！～小学生のシシトウ収穫体験～



出荷場見学の様子

６月21日、赤岡小学校と吉川小学校の３年生計19名が、香南市のシシトウ農家のは場で収穫体験を行いました。

農業改良普及課はＪＡと連携し、収穫体験に向けシシトウの栽培方法や天敵昆虫について事前学習を実施しました。

児童らは、「まっすぐなシシトウをとりたい」「辛いかどうか食べてみたい」と試食をしながら収穫していました。中には、「シシトウよりも昆虫をとりたい」と虫かごと虫眼鏡を持参する将来の虫博士候補もいました。シシトウ収穫体験後は、ＪＡの出荷場でシシトウやニラなどの地域の野菜がどのように出荷されるのか見学しました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携し食育活動を支援していきます。

来作の管理はどうする？～調査結果から今作を振り返ろう～



講習会の様子

７月８日、ＪＡ夜須集出荷場にてＪＡ高知県香美地区フルーツトマト部会の栽培講習会が開催され、生産者18名が出席しました。

種苗会社からは近年の品種動向や栽培管理における注意点を、農業改良普及課からは、今作の生育調査の結果を報告するとともに春先の遮光による温湿度管理を指導しました。生産者からは、「来作は収穫所要日数等を知るために、着花段数を記帳していきたい」などの声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、フルーツトマトの安定生産に向けた支援を行います。

南国市集落営農塾～幡多に行ってきました～



カンショ畑で話を伺う
参加者

7月7日、南国市集落営農塾の一環として、生産者や関係機関を含めた8名と、幡多地区への視察に同行しました。

四万十市の(農)入田村では、ほ場整備を契機とした集落営農組織の立ち上げや雇用、導入した園芸作物について、また、大月町の芋づくり生産組合では、大規模栽培しているカンショの栽培管理や出荷販売について話を伺うことができました。

参加者からは「換地が始まれば組織は動き始めると思う」「カンショ栽培はあまり手間をかけていないようだが収穫時期にも見に来たい」などの声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、組織化及び組織のステップアップに向けた支援を行います。

生育は順調？～オオバ現地巡回を実施～



生育状況や病害虫の発生を
確認する参加者

7月15日、J A 高知県香美地区大葉部会の部会員7名の現地巡回を行い、J A 担当者と農業改良普及課オオバ担当者が参加しました。

農業改良普及課では、耕種概要を聞き取るとともに、病害虫の発生やオオバの生育状況について確認を行い、効果的な防除方法を指導しました。この巡回には、新規就農者も参加しており、各ほ場で見られる病害虫や栽培管理について意見交換することで、新規就農者の栽培技術の向上や既存農家の栽培技術の気づきにつながりました。

農業改良普及課では、引き続き栽培技術向上による生産安定と、品質向上による経営安定に向けた支援を行います。

米の基本的な管理を徹底指導！！
～ J A 高知県南国市稲作部水稻生育検討会～



「病気の防除はタイミング
が大事です！！」

6月27日と29日に、J A 高知県南国市稲作部が水稻生育検討会を開催し、27名が参加しました。

農業改良普及課は、本作の生育状況の説明や水管理、病害虫防除等について指導しました。

生産者からは「間断かん水は具体的にどういう水管理？」「高温対策はどうしたらいい？」といった質問があり、基本的な水稻の栽培管理について理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後もJ A と協力して、南国地区の米の収量及び品質の安定化を図り、稲作地帯の維持発展を目指します。